

実務経験のある教員等による授業科目

シラバス

マンガ・イラスト学科

ストーリーコミックコース

デッサン		180(12単位)
1	マンガ・イラスト	ストーリーコミック
古田道恵 (美術系大学を卒業後、作品展、個展等を行い現在も作家として活動)		
前 期		
明暗や立体のとらえ方を理解する		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
1	基礎デッサン	円筒形(前半 石膏 後半 植木鉢) 鉛筆の削り方 クロッキー
2	基礎デッサン	立方体(前半 白立方体 後半 立方体・ワイン瓶2)
3	基礎デッサン	球体 (前半 石膏球 後半 バasketボール)
4	デッサン	ブロック・軟式テニスボール
5	デッサン	オイル缶・紙風船
6	石膏デッサン① クロッキー強化週間	石膏デッサン ミロのビーナスorメヂチ or 青年ブルータス ・アグリッパorラポルト or 獅子冠女神
7	石膏デッサン① クロッキー強化週間	石膏デッサン ミロのビーナスorメヂチ or 青年ブルータス ・アグリッパorラポルト or 獅子冠女神
8	石膏デッサン②クロッキー強化週間	石膏デッサン② ① で描いてない像 顔クロッキー導入(コンテダーマト)
9	石膏デッサン② クロッキー強化週間	石膏デッサン② ① で描いてない像 顔クロッキー導入(コンテダーマト)
10	デッサン	手二態 (構図、空間、疎と密) ・指5本の存在がわかるポーズ！
11	デッサン	自画像
12	色彩構成	16色面(色彩構成)後半→『あまい・からい』
13	色彩構成	着彩描写〔導入〕 前半：ハートランドピン 後半：赤リンゴ(各自持参)
14	デッサン(人物)	着衣人物デッサン(座りポーズ) 2人交代でポーズ
15	着彩 スケッチ キャラ変	着衣人物(女性立ちポーズ) 顔スケッチ

講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習		
表現力の土台となるデッサン力を基礎から身につける。		
使用教材:		
後 期		
様々なモチーフの描き方を理解する		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
1	デッサン	ハートランド瓶、リボン、レンガ
2	ビール瓶	前半 ビール瓶(デッサン) 後半 ビール瓶(着彩)
3	石膏デッサン③	石膏デッサン③ ・カッパのビーナスorアポロor ギリシャ婦人像 ・アリアスor闘士像orカラカラ帝
4	石膏デッサン③	石膏デッサン③ ・カッパのビーナスorアポロor ギリシャ婦人像 ・アリアスor闘士像orカラカラ帝
5	石膏デッサン③	石膏デッサン③ ・カッパのビーナスorアポロor ギリシャ婦人像 ・アリアスor闘士像orカラカラ帝
6	果物or野菜2個 ワイン瓶	果物or野菜2個 モチーフの配置、構図について
7	着衣人物	午前→男性座りポーズ(鉛筆デッサン)午後→女性色々ポーズ(スケッチ)
8	ヌードクロッキー	ヌードクロッキー
9	ヌードデッサン	ヌードデッサン
10	想定描写	想定描写 1m石膏球・任意の階段
11	想定描写	想定描写 1m石膏球・任意の階段
12	デッサン	花(百合の花)
13	着彩	着彩描写 ユッカ または ゴムの木
14	デッサン	特大自画像①
15	デッサン	特大自画像②

授業科目		授業時数
デッサン		120(8単位)
学年	学科	コース
2	マンガ・イラスト	ストーリーコミック
担当講師(プロフィール)		
古田道恵 (美術系大学を卒業後、作品展、個展等を行い現在も作家として活動)		
前 期		
到達目標		
就職やデビューに必要な画力を身につける		
評価方法		
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他		
授業計画		
授業項目	実施内容	
1	着衣人物スケッチ 交代で全員ポーズ(5～10分) 後半;石膏小	
2	石膏デッサン① 1回目	
3	石膏デッサン① 2回目	
4	石膏デッサン① 3回目	
5	ヌードデッサン 女性ノ座りポーズ	
6	キャラ変 描いた人物クロッキーをキャラクターに	
7	机上デッサン① 牛頭骨又は剥製	
8	机上デッサン① 2回目	
9	机上デッサン① 3回目	
10	机上デッサン② タオル、ビール缶、瓶、紙風船 など各自でモチーフを組む	
11	机上デッサン② タオル、ビール缶、瓶、紙風船 など各自でモチーフを組む	
12	人物デッサン 2人組、交代でモデル	
13	ヌードデッサン 女性モデル(座りポーズ)	
14	着衣人物デッサン 男性座りポーズ	
15	レスラーモデルスケッチ レスラーモデル(男性)クロッキー&スケッチ	

授業の方法	
講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ 実技 ・ 実習	
授業概要	
1年生で得た基礎的なクロッキー力と観察力をもとに、大型デッサンや応用的な作品作りを目指す。	
使用教材:	
後 期	
到達目標	
複雑なモチーフを描ける力をつける	
評価方法	
筆記試験・実技試験・実習評価・課題評価・小テスト・その他	
授業計画	
授業項目	実施内容
1	室内パーススケッチ 学校内の場所をパースの方法を使って描く
2	石膏デッサン② 1回目
3	石膏デッサン② 2回目
4	石膏デッサン② 3回目
5	人物デッサン ヌードデッサン又はスケッチ(女性座り)
6	想定描写『廃墟』 廃墟をテーマに白黒で表現 ペンまたは鉛筆
7	想定描写『廃墟』 廃墟を描く②
8	想定描写『廃墟』 廃墟を描く③
9	色彩構成 色彩「3態」
10	色彩構成 色彩「3態」
11	予備日
12	特大自然画像① エキサイ展用特大自然画像作成
13	特大自然画像② エキサイ展用特大自然画像作成
14	特大自然画像③ エキサイ展用特大自然画像作成
15	特大自然画像④ エキサイ展用特大自然画像作成